地域会館の設計案に対する意見及び市の考え方

１　意見募集期間

令和６年３月２５日（月曜日）から 同年４月２４日（水曜日）まで

２　意見の提出者数及び意見の件数

提出者数　　１９名

意見の件数　　５３件

３　意見の概要及び市の考え方

該当箇所	意 見 の 概 要 ※【 】は通し番号	市 の 考 え 方
２つの設計案	【1】（意見）Ａタイプの設計案を希望します。ただし、活動・交流スペースを事務室に変更するについては＜例２＞を希望します。 （理由）地域づくりの中心的施設であるため、館長、事務職員が常駐できる場所は必要である。	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。 なお、事務室の在り方については、現在取組中の公民館再編とも関連させながら検討していきます。
	【2】（意見）設計案Ｂ 設計変更例３を支持します。可動式間仕切りを用いて大きなホールを区切ることの出来る案が、今回の提案の中では適当だと考えます。 （理由）現在の利用状況を見たときに数十人規模での利用はそう多くなく、しかしながら空間を二つにわけることができれば利用団体は二つになるため一つのホールで予約がなかなか出来ない事態は避けられる また、体操教室や市民講座の際には大きなホールが必要と思われる	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。 なお、設計変更の【例３】の場合、２分割した下側のスペース（ホール南側）は、御覧のとおり細長くなってしまうため、その点は課題であるとも考えています。
	【3】（意見）基本的にＡタイプのほうがベターだと思うが、ただ、会議室の中央・左右の方向に可動式間仕切りを設置してほしい。 （理由）会議で使用できる部屋の数を多くするため。	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。 なお、約 34 ㎡の会議室を更に分割すると、かなり手狭になってしまう点は課題であると考えます。
	【4】（意見）「B タイプ」が良いと思う （理由）多人数でも、少人数でも仕切りを入れて使用ができる。さらに収納倉庫もあるのでベターではないか。	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。
	【5】（意見）Ａタイプが適切と考えます。 （理由）生涯活動センターと地域会館の使い分	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。

	けを前提に考えれば、利用団体としては、地域会館は小さめの部屋を複数とした方が利用や予約のうえで便利と思われます。	
	【6】（意見）基本的にはＡタイプが使用しやすいと考える （理由）ホールと会議室は別々にあったほうがよい。	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。
	【7】（意見）会館となっても地域館長、主事、職員が引き続き残る場合は『活動･交流スペース』を事務所としてほしい （理由）会館になってもこれまで通りの体制でいくのなら、事務所も必要と考える ※『A プラン+ホール分割で 3 部屋確保+交流スペースを事務所へ』が望ましい	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。 なお、公民館職員（地域公民館の事務嘱託等）や有償ボランティアである地域館長・地域主事の今後の役割については、地域が必要とするもの、抱える課題を把握し直した上で、地域と市との適切な役割分担という視点から検討し、今後決定される公民館再編の具体的な在り方の中で決定していきます。
	【8】（意見）公民館の機能を移転するとしているが、ただの貸館にならないように、地域の活動を支援する事務室を設置してほしい。A タイプ B タイプについては、議会答弁で意見交換会を開くということなので、それぞれの地域の意見、要望を取り入れてほしい。	御意見は、基本となる案を選定（ＡタイプかＢタイプかを決定）する際の参考といたします。 設計案については、まずパブリックコメントを行って市民全体の意見を聞いた上で、基本となる案（ＡタイプかＢタイプか）を定め、その後、整備対象区域となる各校区･地域において地元説明会を開催して更に意見を聞き、可能な範囲で基本となる案をカスタマイズ（仕様変更）することを想定しています。
	【9】（意見）「どちらを選定すべきか」を問うているが、地域によっては希望する構造は違ってくると考える。市民全体に問うているのはどのような趣旨からか。	地域会館の設計案については、まずパブリックコメントを行って市民全体の意見を聞いた上で、基本となる案（ＡタイプかＢタイプか）を定めます。その後、整備対象区域となる各校区･地域において地元説明会を開催して更に意見を聞き、可能な範囲で基本となる案をカスタマイズ（仕様変更）することを想定しています。基本となる案を定めることにより全市的なサービス水準の平等性を確保した上で、各校区･地域の意見による変更の余地も残すことで、可能な範囲で地域の要望にも対応していきます。
避難所として	【10】（意見）臨時避難所になる可能性を考慮して I．災害対応トイレ(多目的トイレの片隅にマン	地域会館は、避難所として指定される可能性も考慮して設計する予定です。 ただし、災害対応トイレや備蓄品収納庫、太陽

	ホールトイレ用下水を設ける等)の設置 2. 電気不要の誰にでも使える炊飯器(タイガー社のかまどご飯等)の配備 3. 地域単位での備蓄品について熊谷市が標準的な目安を提示し、その量・内容が収納可能な収納庫 も併せてご検討ください。	光発電装置等の設置の要否を含め、避難所としてどのような仕様を備えるべきかについては、市の地域防災計画における地域会館の位置付け（将来的な見通し）や、地域会館整備予定地周辺にある既存の避難所の配置状況や規模（収容可能人数)、機能、仕様等も考慮した上で、今後決定していきます。
	【11】（意見）屋根に太陽光発電を設置して欲しい。 （理由）災害避難としての機能を向上させる。	
図面の表記	【12】（意見）室面積に加え間取りの長さ表記がないので記載して欲しい。 （理由）吹き矢の競技用に15m以上の長さが欲しい。	図面のうち、「地域会館設計案_別添１（Ａタイプ）_設備等なし」と「地域会館設計案_別添２（Ｂタイプ）_設備等なし」には、図面中の建物平面の外周（3辺）に10ｃｍ単位のメジャー（1ｍごとに白と緑で色分け）が記載されていますので、御参考にしてください。ちなみに、ホールの各辺の長さ（内法）は、Ａタイプでは11m×8.4m、Ｂタイプでは11m×10.3mです。 なお、地域会館の規模では、15m以上の直線距離が取れるスペースの確保は困難と考えます。
和室	【13】（意見）共用できる和室（畳）または柔らか床材の設置を希望する。 （理由）熊谷市地域子育て支援拠点・子育て広場「のびのび」の活動継続を希望する。	一般的な傾向として和室は稼働率が低いため、和室（畳敷きの部屋）は設けない予定です。ただし、床の仕様や材質については、木造･木質化を基本として今後の設計の中で決定していきますので、地域子育て支援拠点としての利用も考慮に入れて検討します。
ホールの床	【14】(意見) スポーツクラブ程ではなくていいので、足腰にやさしい床にして欲しいです（今よりも） （理由）今のホールは床が固く体操時に膝や腰に負担がかかりやすいと思います。又、冬はヨガマットがあっても暖房を使っても床が冷たい為	床の仕様や材質については、木造･木質化を基本として今後の設計の中で決定していきますので、足腰への負担軽減等も考慮に入れて検討します。
地域の意見集約の方法	【15】（意見）具体的には４地域の建設が計画されているが、各々の地域の方からの意見集約は、具体的にどのような方法で行うのか。	市ホームページ、メルくま、会場となる地域公民館の公民館だよりなどで既に周知しているところですが、次の予定で各校区･地域別の地元説明会を開催します（時間はいずれも午前9時30分～11時30分の予定)。 （開催日）　　（会場）

		5月12日（日）　佐谷田公民館ホール 5月18日（土）　大幡公民館ホール 5月26日（日）　大麻生公民館ホール 6月　1日（土）　三尻公民館ホール これらの地元説明会を意見集約･意見交換の場として活用したいと考えています。
公民館再編等との関係	【16】（意見）「地域会館の設計案に対する意見」とありますが、下記理由により意見提出を考察することは 難しいと考えます。 （ハード先行でソフトが明らかにされていない状況下） （理由） 1.7 生涯活動センターと地域会館との役割･仕組みが不明 ①各生涯活動センターの仕組みと役割が不明 ･第１センターと他の6センターとの仕組みと役割 ･公民館の役割と地域会館の役割分担及び運営方法 例えば利用者の申し込み方法と地域会館の運営 ･運営におけるデジタル化の基本構想(電子受付、会館の開閉等) (現在の支援活動センター、コミュニケーションセンター、他施設等との関係) ②各生涯活動センターと地域会館の役割分担と運営方法が不明？ 2.地域会館の考え方 ①現行公民館の利用か再建築？ ･公民館の再編・役割･仕組みが不明状態で設計案の考察は無理がある ②運営方法が未定な状況下で設計案なんて無理がある	御指摘のように、ハードとソフトとは密接に関係します。特に、地域会館の管理体制や運営方法については、現在取組中の公民館再編の在り方（方針決定は今後）と深く関わってくるため、公民館再編の在り方等を確認した上で施設の設計を決めたいというお考えも、もっともであると思います。 しかしながら、公民館再編の在り方を先に決めてしまうと、その主な活動場所となる地域会館の設計も、多くの部分が自動的に決まってしまうという側面もあります。そのため、今回のパブリックコメントでは、公民館再編の動向に縛られない、自由な立場からの御意見を伺いたいと考え、あえて施設の設計や仕様のみをお聞きする形を採りました。地域会館は、地域の生涯学習・コミュニティ活動等の拠点となるべき施設であることと、生涯活動センターとの役割分担を想定していることの２点のみを前提として、御意見をお寄せいただいたところです。
維持管理運営	【17】（意見）地域会館設計案に対する意見を求められているが、その前に地域会館の管理体制と運営方法は現行の公民館と比してどう変わるのか、御教示ください。 （理由）それにより、地域会館設計案に対する意見や考え方が変わってきます。(例えば、現在、２名の嘱託職員の配置は？　建物の鍵等の	御指摘のように、施設の設計や仕様と、その管理体制や運営方法とは密接に関係しますので、管理運営方法を確認した上で施設の設計を決めたいというお考えも、もっともであると思います。 しかしながら、管理運営方法を先に決めてしまうと、地域会館の設計も多くの部分が自動的に決まってしまうという側面もあります。そのため、

	管理は？　等）	今回のパブリックコメントでは、管理運営方法の選択に縛られない、自由な立場からの御意見を伺いたいと考え、あえて施設の設計や仕様のみをお聞きする形を採りました。地域会館は、地域の生涯学習・コミュニティ活動等の拠点となるべき施設であることと、生涯活動センターとの役割分担を想定していることの２点のみを前提として、御意見をお寄せいただいたところです。
	【18】（意見・理由）1.　（佐谷田）会館の管理は現在の（佐谷田）公民館と同じく、熊谷市による直営形態にされたい。 2.　佐谷田公民館の管理は、熊谷市の非正規雇用職員により実施されている。特に女性二人の態度―公民館を利用する地域住民に対する態度―が非常に丁ねいで、かつ地域住民へのサービス精神に溢れている。そのため地域住民は公民館利用に大いに満足している。 　また、現在の佐谷田公民館は地域住民の声を聞く「運営協議会」の場を設けていて、この点からも地域住民の厚い支持を得ている。 3.　近い将来、佐谷田公民館が佐谷田会館にかわったとき、管理形態が外注化されることを私は懸念する。外注化されるとすれば指定管理者などの形態が考えられるが、いずれにしても外注化については全国的にいくつかの問題が指摘されている。 　外注化による最大の問題は住民サービスが低下することである。入札などの競争手続きで安価な価格をもって管理受注権を獲得した団体は、その財政が行き詰まって適切な住民サービスを維持できなくなる事例があると言われている。そうなると、受注した団体は利用者(=地域住民)の意向を尊重しなくなり、いきおい住民不在の管理形態に傾いていく。この事態は最終的に、発注者(今回の場合は熊谷市)の地域政策に対する住民評価の低下を招くことになろう。 　また、指定管理者などの受注団体が経営不振に陥って自己破産するか、あるいはいつの間に	地域会館の管理を公民館と同様に市の直営とするか否かについては、今後決定される施設の仕様や公民館再編の在り方も踏まえて判断していきます。遠隔操作による鍵開け等が可能となるスマートロック（電子錠）の導入等も検討課題と考えており、無人管理の可能性も見込んでいますが、同時に、公民館再編の方針･進捗との関係で、当面は公民館職員を配置することも考えています。

	か雲散霧消するなどして、管理の継続に穴があく事態も全国的に発生していると言われている。 4. 市の職員数を減らす行政改革のためとして外注化に走るのは、上述のとおり否定的な面が強い。来るべき佐谷田会館の管理は現在と同じく熊谷市の直営形態が継続され、その形態を基礎に、地域住民へのサービスが維持されることを切に望む。	
	【19】（意見）（三尻会館など）地域会館の維持管理はどのように考えているのか （理由）三尻会館の維持管理はどのように考えているのか	地域会館の維持管理運営については、今後決定される公民館再編の具体的な在り方や地域会館の設計･仕様･設備等を踏まえ、決定していきます。遠隔操作による鍵開け等が可能となるスマートロック（電子錠）の導入等も検討課題と考えており、無人管理の可能性も見込んでいますが、同時に、公民館再編の方針･進捗との関係で、当面は公民館職員を配置することも考えています。
木造	【20】（意見）私は林業･森林問題の研究者であることもあって、佐谷田会館及び全地域会館を木造建築とする方針を大いに歓迎する。木のぬくもり溢れる建築物の竣工を待っている次第である。 ただ私は、長い間、大学に在籍していたので、いまだ熊谷市内の林業・森林情勢には無知であるが、恐らく熊谷市内には産業としての林業はないと推測する(木材加工･販売業が数社、あるのは知っている)。従って熊谷市内原産の木材を調達するのは無理だろうから、せめて埼玉県産材を使用するようにしてほしいものである。いわば準地産地消が望ましいと考える。(*)なお、外材の使用は絶対に避けるべきである。	御意見は、木造建物としての具体的な仕様を決定する際の参考といたします。なお、ここでいう「木造」には、木質化や混構造（一部鉄骨等）も含まれ、純木造のみを意味するものではありませんので、御注意ください。 また、国産材・県産材の採用についても検討項目ですが、コストや調達可能性についても考慮せざるを得ませんので、併せてお含みおきください。
整理棚(保管庫）等	【21】（意見）固定されているものであるべきでは？ （理由）避難所等にも活用されるのであれば倒れない作り付けの整理棚にすべき	整理棚（保管庫）等については、建物本体に造り付けにしたり、転倒防止器具を設置したりすることにより、安全性を確保したいと考えます。
姿見(鏡張り)	【22】（意見）鏡（姿見）についてはアルミ製の鏡にした方が良い （理由）多目的の施設であれば鏡が割れると危険である	見やすさと安全性の両方を考慮の上、ガラス製とするかアルミ製とするか等について、今後の設計の中で決定していきます。

	【23】（意見）姿見(鏡)の設置を希望したい （理由）ダンス等の団体に聞かれることがあるので	ＡタイプかＢタイプかにかかわらず、姿見（鏡）を設置する方向で検討しています。
聴覚障害に配慮した設計	【24】（意見）以下のような、聴覚障害に配慮した設計をしてください。 ・災害等緊急時に文字で情報を伝える設備やランプ。 ・補聴のためのFMやロジャーに対応した設備。 もし既に計画されているならば、資料に記載してください。 （理由）聴覚障害者の安全保障、情報保証のため	地域会館の仕様については、ユニバーサルデザインーを基本的な要請と考えていますので、聴覚障害に配慮した設計や設備についても、具体的にどの程度の水準まで充足できるかについて、今後の設計の中で検討します。
設計変更案	【25】（意見）Ａタイプで設計する場合は、活動・交流スペースは事務室にして欲しい （理由）地域公民館では地域の団体が印刷機を利用することが多く、印刷できる場所の確保が必要。 活動グループの活動だけなら事務室はいらないが、一般講座を開設するなら、職員がいないと対応・企画立案出来ない。	ＡタイプもＢタイプも、活動・交流スペースを事務室に設計変更することが可能ですので、各校区・地域での地元説明会における意見等も参考に、校区・地域ごとに決定していく予定です。
収納場所	【26】（意見）Ａタイプで設計する場合は、会議室の一部を物置として活用できるよう工夫して欲しい。 （理由）現有の備品やイベント用の資材があるので、どうしても物置は必要。	特にＡタイプについては、収納スペースに課題があるため、建物内への収納スペース確保の工夫（小屋裏収納や床下収納の可能性等）について、今後の設計の中で具体的に検討します。
	【27】（意見）長机の収納の場所は （理由）フォークダンス等ホール全体を使う場合隅に寄せただけでは、狭くなるし、ぶつかる等危険では・・・	
防音性・遮音性	【28】（意見）少人数サークルが同時に使った時、防音はどうかな？ （理由）音読で、かなりの声を大きくするので	防音性・遮音性については、特段高性能の仕様は想定していませんが、今後の設計の中で具体的に検討します。
収容人数	【29】（意見）８０人程度収容できる部屋が欲しいです （理由）健全育成会の役員が１００人くらいのため	備品（机・イス等）の数にもよりますが、Ａタイプのホールでも、主催者を含めて80人程度の収容は可能と見込まれます。ただし、100人となると難しいと思われます（机を片付けてイスのみを並べる形であれば可。もっともイスが足りなくなる心配があります。）。

面積 200 ㎡	【30】（意見）少子高齢化の進行は理解できますが、規模を２００㎡以下にこだわる必要は無いのでは （理由）・過去の使用状況・小学校区の人口等により規模の決定を望む	具体的に 200 ㎡以下とする理由としては、①生涯活動センターを補完する地域会館の面積としては十分であると考えられること、②熊谷市公共施設等総合管理計画の将来費用推計でも地域会館の延床面積を 200 ㎡と想定して試算していること、などを挙げることができます。 また、利用状況（使用状況）も考慮して規模を決定しました。地域公民館の利用実績（パブリックコメントを開始した当時よりも集計作業が進んだため、その最新の数字に差し替えたもの）に当てはめてみると、利用件数の約 94%が 24 人以下での利用（ホール又は会議室で収容可能）であることから、既存の利用の約 94%に対して、地域会館の規模及び仕様により対応可能といえます。さらに、25 人以上での利用実績についても詳細にみると、対応可能なケースが少なくありませんので（例えば、50 人程度の会議であればホールで対応可能）、200 ㎡で十分と考えます。
建築場所	【31】（意見）既存跡地利用は大変良いと思います。 （理由）前回説明の移転設置の計画は良くなかった	「前回説明の移転設置の計画」というのは、かつての方針であった学校内のプール跡地への整備を指しているものと推察しますが、その後、当該方針は変更され、現在では地域会館は学校内には整備しない方針となっています（統廃合により閉校となった元学校は別です。）。
トイレ	【32】（意見）女性用トイレの数が少ないと思う （理由）現在公民館を利用する人は女性が圧倒的に多いこのため数を増やしたほうが良い。ただしこれらに対応として、ユニバーサルトイレの「ドア表示」を空いているときは、一般に開放できるものにすることにより対応できる。	ＡタイプもＢタイプも、女性トイレの個室の数は２つ、ユニバーサルトイレは１つとなっていますので、ユニバーサルトイレを含めて女性用の個室は３つです。ユニバーサルトイレはだれでも利用できますので、より必要性の高い方を優先しつつ、譲り合って使っていただくことを想定しています。
運営方法	【33】（意見）地域の人(老人から 子供まで)がいつでも集うことができる会館に！ （理由）公民館を統合するのは、結構だがせっかく「地域会館」を建設するのであれば、今の様に地域の人たちが皆で使えるように開放をお願いしたい。これが「生涯学習」ではないでしょうか。	地域の方々、特に若年世代にも地域会館が利用されるように、フリースペースである「活動・交流スペース」を設計案に入れてみました。地域会館が若い世代が集まれる場所（良い意味での若者のたまり場）になるというのも、１つの可能性ではないかと考えています。
	【34】（意見）地域の持っている特色のある事業	地域会館が地域の特色ある事業・活動の場とし

	を継続できる会館に！ （理由）「地域会館」を校区ごとに計画していただきありがとうございます。地域の持っている特色のある事業が継続できる会館運営を期待します。	て利用され、親しまれるようになることを、市としても願っております。
職員の配置	【35】（意見）今回の設計案のみの意見募集にて、今後も推し進めるならば「絶対反対」。 有人対応運用案の再考を実行し再提案が必要です （理由 1）何故、A・B・C 案のみですか? ア・別紙①③の中に「交流スペースを事務室に変更する場合」の記述が小さな文字で記載されているが、「有人対応運用案の再考を実行」 を実行し、再提案が必要。 (理由 2)イ 熊谷市人口の現在の年齢別構成は「逆三角形」です。高齢者が旧熊谷町(1920 年以降) 地区内･近隣へ車使用で行く場合は多くの危険性(事故・他)が高くなります。 自治会長対象のセミナーでも同様の話しがあり、住民への注意喚起の提案あり。 ウ 1941 年以降多くの大里郡〇〇村等が「熊谷市に編入」されましたが、この地区では「車」は足替わりです。この理由で「有人対応地域会館」が必要です。設置場所は「令和 5 年 3 月迄の小学校校区単位」が望ましい。近隣住民は地域会館へ自転車･徒歩等が可能になります 現在ある公民館で入手出来るサービス･機能等を残せます。 エ「住民ファースト」の考え方が一番大事です。市役所都合を押し付けない事です	地域会館への職員の配置については、地域が必要とするもの、抱える課題を把握し直した上で、地域と市との適切な役割分担という視点から検討し、今後決定される公民館再編の具体的な在り方とも整合させる形で決定していきます。地域会館の施設自体は、遠隔操作による鍵開け等が可能となるスマートロック（電子錠）の導入等も検討課題と考えており、無人管理の可能性も見込んでいますが、同時に、公民館再編の方針･進捗との関係で、当面は公民館職員を配置することも考えています。
	【36】（意見）地域館が職員を必要としない形を考えている様だがそれは地域として問題がある （理由）自治会の活動等でも公民館職員が中核を担っている場合が少なくなく、地域会館に職員がいなくなれば地域の諸活動にも多大な影響が出る	

敷地内の石碑等	【37】（意見）（三尻公民館の）前にある寄贈された石、石碑、敷地内にある木はどうなるのか （理由）移動なのか除去なのか、どういった対応の予定か。もしこちらが何かしら対応を希望した場合、聞き入れてもらえるのかどうか	寄贈された物や石碑については、寄贈者の意思の尊重、文化財保護の見地等から判断していきます。また、立木については、施設管理や景観の視点から判断しますが、地域会館の施工上、伐採が必要となる場合もあると考えます。
陶芸窯	【38】（意見）（三尻公民館の）陶芸窯はどうなるのか （理由）三尻会館になっても、ここで陶芸窯を使った活動ができるのか	生涯活動センターをより多機能の施設として整備する一方で、地域会館の機能は必要性が特に高いものに絞っていく方向性を想定していますので、陶芸窯については、原則として生涯活動センターの機能の１つとしてその要否を検討すべきものと考えます。 しかしながら、最寄り（となる想定）の生涯活動センターの整備予定時期がしばらく先で、地域会館のみが先行整備されるような状況にある校区・地域については、生涯活動センターが整備されるまでの間は、一定の配慮も必要と考えられますので、地元説明会等で意見等を伺った上で、決定していきます。
倉庫・物置	【39】（意見）（三尻公民館の）倉庫はどうなるのか。あと物置の設置もどうなるのか物置の移動も対応してもらえるのか （理由）三尻公民館は倉庫も建物の一部となっている。B プランを選択したとしても、与えられる倉庫では到底足りないと思われる。現在敷地内にある物置も含め、どう対応する予定なのか知りたい ※これまで公民館で扱っていた事業資料等の置き場(管理場所)も、(特に A プランの場合だとどうなるのか合わせて知りたい)	地域公民館の敷地内にある倉庫・物置については、その必要性を再確認の上、存続や増設の可否を決定していきます。 なお、倉庫・物置の移転費用については、市有のものは市の負担ですが、それ以外の行政財産の使用許可によって設置されているものについては、設置者の負担となるのが原則です。
（仮称）西部生涯活動センター	【40】（意見）（三尻公民館が集約される予定の）西部生涯活動センターは、何年先、どこにできる予定なのか教えてほしい （理由）第２中央生涯活動センター対象の石原、大原、上石、荒川公民館とは会館への移行への順序が違うため、どのような進み方をするのか知りたい	熊谷市個別施設計画（改定版）　③市民文化施設編 39 頁には、（仮称）西部生涯活動センターの整備予定地は新堀小学校区内、整備時期は 2035～44 年度（第 3 期）と記載されています。整備予定地については、具体的には統廃合後の新堀小学校跡地を候補地としていますので、学校統廃合の動向によっては新たな候補地の選定が必要となります。また、計画の内容はその策定時点でのものですので、今後、変更もあり得るものと考えています。

		三尻や大麻生のケースのように、生涯活動センターの整備前に地域公民館を地域会館として建て替える理由は、老朽化と耐震性の課題への対策を最優先したためです。 なお、現在整備中の（仮称）第２中央生涯活動センターは、市民全体で利用する広域施設ですので、お住いの校区・地域にかかわらず御利用いただける予定です。
公民館職員、地域館長、地域主事	【41】（意見）公民館ではなく、地域会館として建て替えるのであれば、現在の地域公民館長、主事、公民館職員はどうなるのか （理由）会館になったら変更があるのか知りたい	公民館職員（地域公民館の事務嘱託等）の今後の役割については、地域が必要とするもの、抱える課題を把握し直した上で、地域と市との適切な役割分担という視点から検討し、今後決定される公民館再編の具体的な在り方の中で決定していきます。 有償ボランティアである地域館長・地域主事についても、同様です。
市公連（熊谷市公民館連合会）との関係	【42】（意見）地域会館へ移行後、市公連事業への参加はどうなるのか （理由）所属ブロック、広報、高齢者芸能大会、公民館まつり等にどのように対応すればいいのか不明なため	市公連（熊谷市公民館連合会）の在り方については、地域公民館の地域会館としての建て替えそれ自体ではなく、今後決定される公民館再編の具体的な在り方によって影響を受けることが予想されます。組織・団体と施設・建物とを区別してお考えいただければと思います。
整備計画	【43】（意見）建築場所やタイムスパン等の中・長期計画をもう少し具体的に示す必要があると考えます。 （理由）現時点で不透明な部分も多いことは理解できますが、２項「長期的には」、４項「順次整備」、５項「跡地等を想定」の文言だけでは、全体像を把握するうえでも、また個別の施設を検討するうえでも、情報不足は否めません。	地域会館を含む市有施設の長期的な計画については、熊谷市公共施設等総合管理計画や熊谷市個別施設計画（改定版）に記載されています。地域会館に関しても、これら関連する計画の今後の更新・見直しの機会などをとらえ、より具体的な情報を提供できるように努めてまいります。
備品の再利用	【44】（意見）公民館で使用している机、椅子、書庫等は会館で再利用するのか （理由）費用のことを考えれば再利用がいいのかもしれないが、古くて修繕しながら使っている物も多いので	基本的な考え方として、地域会館で必要となる備品の種類・数等をまず把握し、それに適合する範囲内で、既存の備品を引き続き利用すべきか否かを決めていきます。現にある備品の仕様や傷み具合は様々ですので、個別具体的に判断していきます。

現在の登録団体の活動	【45】（意見）現在登録している学習グループは、（三尻会館などの）地域会館へ移行後、どのような扱いになるのか （理由）これまで通りに活動できるのか不明なため団体登録方法などに変更があるのか	基本的には、これまでどおりの活動を継続していただけるようにしたいと考えています。ただし、既存公民館よりも地域会館の室数が減少する場合は、活動の曜日や時間帯を調整していただくことが必要になる場合もあるものと考えます。
Ａタイプのホール分割	【46】（意見）Ｂプランではホールを分割する仕切りを設ける案が載っていたが、Ａプランでもホールを仕切られるように対応できないのか （理由）できれば貸出可能な部屋が今と同じ３つあるといい	Ａタイプについても、ホールを分割できる仕様にすることは可能です。ただし、ロビーに面したホールの出入口の位置を考慮すると、上下（南北）方向に３：１程度で分割することになり、下側（南側）の分割後のスペースが狭すぎるのではないか、という点が懸念されます。
地下室	【47】（意見）地下への避難施設を考えてもよいのでは （理由）市街地では非常事態の時に地階や頑丈な建物に入って逃れることが出来るが、地方ではそのような建物はない。地方に頑丈なシェルターを設置し、その上物として地域会館を建ててはいかがですか（昨今の情勢を考えて）	頑丈な地下シェルターの設置については、地域会館の目的や整備コストをはるかに上回る国民保護に関する課題ですので、今回のパブリックコメントの中でのお答えは控えさせていただきます。
各部屋の管理方法	【48】（意見）どちらの設計案でも、地域会館の出入り口の鍵だけではなく、会議室やホールにも鍵をかけて管理される予定なのか。 （理由）設計案の説明を読むと、交流スペースは無料で利用可能となっている。例えば、交流スペースで利用申請して、当日ほかの部屋の利用者がいなかった場合、ホールを無料で使ってしまう事態が生じることが考えられるため	ＡタイプかＢタイプかにかかわらず、現在の地域公民館と同様に、部屋ごとに鍵がかかる仕様にする予定です。
デジタル技術の導入	【49】（意見）現在の公民館利用者はほぼ高齢者である。部屋の予約、支払い、スマートロック等、すべてオンライン対応となると、利用するまでのハードルが高いと思うが、市はどう対応しようと考えているのか （理由）スマートフォンやパソコンを使えない方々にも地域会館を利用できる方法はあるべきだと考えるので	熊谷市ＤＸ推進計画で、デジタル技術を活用した窓口の利便性向上（取組方針Ⅰ-２）としてキャッシュレス環境整備事業を推進したり、暮らしの中でのデジタル利活用（取組方針２-２）として公共施設等へのＷｉ-Ｆｉの設置に取り組んだりしていますので、地域会館整備事業においても、スマートロック等のデジタル技術の導入を検討します。また、「スマートフォンやデジタルが苦手」という市民のために、スマートフォン活用講座を開設するなどの対策を行っています。
公民館活動との関係	【50】（意見）地域公民館の活動をふまえて計画を考えてほしい。	現在の地域公民館の活動も踏まえながら、地域会館の設計・整備を進めていきます。ただし、現在検討中の公民館再編の在り方によっては、地域

		公民館の活動の在り方が変更となる可能性もあります。
別府公民館の建て替え等	【51】（意見）小さな地域公民館はいまのところ必要ない。 （理由）別府公民館は土地も広く建物も新しくしっかりしているので、現在の状況を変更する必要はない。修理が必要な場合はあるだろうが現状は建て替えの必要は無い	別府公民館は、他の地域公民館に比べて施設自体も新しく、今後必要となる修繕等も実施しながら、耐用年限（2063年度）まで使用する計画ですので、当面、地域会館に建て替える予定はありません。
	【52】（意見）熊谷市全体を一律に考えることなく必要な地域に必要な処置をすべきである （理由）（別府公民館は）利用者も多く地域住民も必要としている。	
（仮称）三尻会館の建築位置	【53】（意見）三尻会館はどの位置に建つのか確認したい （理由）公民館裏の駐車場になのか、横の小学校が管轄している駐車場になのか、不明なため	三尻公民館南東隣の駐車場（教育総務課所管）に建てる予定です。建設予定地となるこの駐車場自体は、今後解体予定の三尻小学校プールの跡地に移転の計画です。 なお、今年度整備に着手する４か所の地域会館それぞれについての意見･質問等については、令和６年５月以降開催の地元説明会にて伺います。 地元説明会については、市ホームページ、メルくま、会場となる地域公民館の公民館だよりなどで既に周知しているところですが、次の予定で各校区･地域別の地元説明会を開催します（時間はいずれも午前9時30分～11時30分の予定）。 （開催日）　（会場） ５月12日（日）　佐谷田公民館ホール ５月18日（土）　大幡公民館ホール ５月26日（日）　大麻生公民館ホール ６月　1日（土）　三尻公民館ホール